ゴーヘッズ 速報

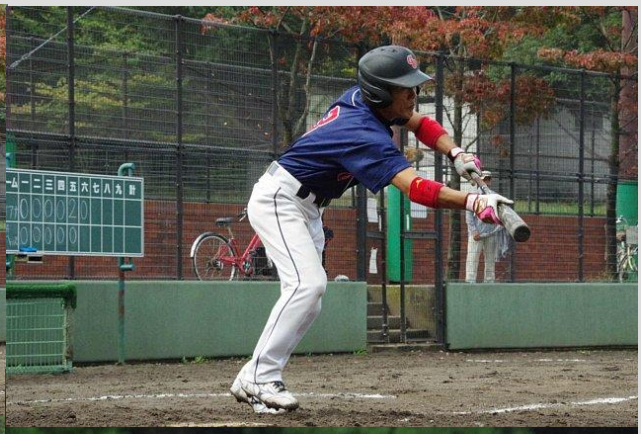
Goaheads

第25号　平成27年10月18日

投手交代のタイミングの難しさを痛感！

	1	2	3	4	5	6	S		R
D	0	0	0	0	2	0	9		11
G	0	0	0	0	0	2	1		3

残念ながらサドンデスで撃沈・・・



区民大会の悲願のてっぺんをめざし、秋季区民大会3回戦を、三ツ池公園野球場に出向き、ダイアナとの一戦を戦った。初対戦故、未知なる戦いであったが、その結末は終盤サドンデスにて訪れた。マウンドは、林が上がりプレイボール。今日の林のピッチングは、昨今の乱れた投球でない、素晴らしい内容。初回を11球で三者凡退に斬ると、その裏の攻撃、先頭哲也が野手の送球エラーで出塁、そして2番智がきっちり送り、一死二塁とチャンスを演出した。クリーンナップに期待が掛かるが、３番祐太朗の打球は、センター正面のライナー、４番も突っ込んだ形で残塁を記録した。しかし、その後、野手のMrバリのトンネルにもメゲズ、林は乱れる事無く０行進のピッチング。しかし、打線も起動に載らずこちらも０行進。そんな中、5回に動きが。この回先頭にレフトの不運な打球処理が重なり、無死二塁、次打者には、レフト前に運ばれ、二塁より走者が生還し１失点、更には、先頭に返り１番の時にWPで三塁に進塁を許し、結果この打者には、センターに犠飛を放たれ2点目を失点した。しかし、それ以上の失点は許さず、後続打者は凡打に斬った。この回でマウンドを降りたが、この回の連続安打を除けば、打たせて取るピッチングが功を奏していた。翌6回には祐太朗がマウンドに上がったが、与四球１という内容で、６回の裏の攻撃に繋げた。そして、この回、ビッグチャンスが訪れた。好投を見せていた相手投手が突如乱れ、この回先頭の哲也に四球を与え、出離を許す。二番智は、見事にセーフティが決まる。そして3番祐太朗も四球を選択し、無死満塁と絶好のチャンスと場面は化した。そして、打席には４番昌平、0-1からの２球目を振り抜くと、欲しかった得点となる適時打で1点を返す。しかし、2塁からホームを目指した智は、内外連携により、ホームで死す。が、まだ場面は、一死ー・三塁、ここで５番深沢が打席に。カウント2-1からスクイズを決め、三塁より祐太朗が生還し同点とした。が、後続が倒れ、同点のまま、特別ルール@サドンデスに突入。場面は一死満塁から。先の回で無失点に抑えた祐太朗だが、２打者に連続四球を与え、投手交代。3番手として、政司がマウンドに上がったが、流を掴んだチームのバットに重圧は無かった。結果、満塁HRを含む２発の被弾と、連続安打で結果この回９点を失点し、ゲーム有り。その裏、１点を返したが、今期も残念ながら、てっぺんへの道は終わってしまった。

振り返ってみると、5回で投手を代えた事が本当に正解だったが、悔やまれる。それまで要所を抑えていただけに、ほんの一握りの力も無くなったとは思えない。なら、どうだったのだろうか？今となってはタラレバなので、何とも言えないが。この辺が交代の難しさかも知れない。また、初回の無失点もツキが無かった。後少し、どちらかに逸れていれば、間違いなく先制となっただけに、ツキも実力のうちの言葉のとおり、残念ながら敗戦となった。悲願のてっぺんは、また来年に持越しとなったが、このチームで、目指したい！その気持ちに偽りはない。